

山口ちなみの「ケルン・コンサート再演」：私の感想

20260106 別当勉

まあまあの出来である。

しかし、凄い。彼女、山口ちなみの挑戦である。基本は、あくまでも、物真似にもほどがある、という気持ちであるが、確かに注目度は沸騰している。

問題は、それほど僕らの魂が「キースのケルン・コンサート」に焦げるほど焼かれて来たということである。であるから、どうしても聴覚がキースに恋焦がれてしまう。さらに、多少の稚拙さも許してしまうのだが。本当の評価がおろそかになっていることは否めない。

さて、私の指摘は二つある。まず、あのパート1の麗しく優しい調べには、スペインの微風が吹いている、はずなのだがチナミの演奏にはそのそよ風が聴こえない。スペイン調といっても、フラメンコではなくクラシック・ギターの香ばしいロマンであり、かもされる何とも言えないスパニッシュ・トーンであろうか。アランフェスやアンダルシアが代表的である。それらの香りがチナミの演奏には醸（かも）されていない。惜しいが、感覚センスのレベルで格段に差がついている。キースの想いを継いでないのだ。

次に、中間の「巡礼の旋律」がボケているのは、最悪である。男の決意のロマンが聴こえない。巡礼とは、神に向かって告白して、心底から行動の純真を謳うものであり、歩行のテンポ、つまりアンダンテなのだ。女だからしょうがないとは言えない。録音してCD出して世に問うているのだから。

それから、録音品質がキースののに比べて落ちる。エンジニアの浅はかさが見える。

キースは、あのライブに臨むとき、風邪をひいて42度の熱を出していたが、無理をした。朦朧としてライブ会場に入ったのだ。ドタキャンせずに演奏するという熱意で抑えた。そのため、ピアノがいつものスタインウェイでなくベーゼンドルファーになっていたが、熱で感覚が半ば麻痺していたために気づかずにスタインウェイだと思って弾いたそうだ。でも、靈感は冴えていた。ECMのエンジニアはその違いに無頓着でライブの真剣勝負を必死に録音したのだった。じつは、それが偶然にも功を奏したのである。結果、録音の評価も上がり人気は白熱してしまった。

そんな事情を知らない三流のエンジニアが録音したから、チナミの録音は静謐だが、か細い色調に出来上がり、キースののに比べて線が細すぎる。

私のような病的ファンの評価は、極端であるから、気にしないで欲しい。

50年ぶりに聴いて、感激はしているのである。

ついでに、キースのプレーメン・コンサートも懐かしく聴いた。あのシーンをもう一度、だ。皆さんも自らの誠心で評価してみて、比べたらどうか。

以上

伝説のケルン・コンサートを再構築するピアニストがデビュー!

半世紀の時を越え愛され続ける名盤が、山口ちなみの演奏によって鮮やかに輝く。

キース・ジャレットの名盤『ザ・ケルン・コンサート』が50周年を迎えた2025年、前代未聞の試みに挑むピアニストが現れた。クラシック・ピアニスト、山口ちなみ。彼女はキース本人が校正を施した楽譜を手にし、半年間の猛特訓を経て、『ザ・ケルン・コンサート』の全曲演奏会を行っている。大きな話題を呼びながらも、これまでコンサートでしか味わえなかった演奏が遂に待望のCD化。賛否両論はあるだろう。しかし、彼女の演奏を聴いた観客は、ピアノに真摯に向き合う姿に感銘を受け、美しく情感あふれる響きに思わず息を呑む。この作品でも同様に、山口ちなみの演奏はあたたかで豊かなベーゼンドルファーの鳴りを一層輝かせ、繊細かつ気品に満ちたタッチと表現力でメロディーを鮮やかに浮かび上がらせる。今、こうして改めて名盤の素晴らしさに出会う喜びを感じていただきたい。

【録音】

2025年9月27日@キング関口台スタジオ



伝説のケルン・コンサートを
再構築するピアニストがデビュー!

半世紀の時を越え愛され続ける名盤が
山口ちなみの演奏によって鮮やかに輝く！

キース・ジャレットの名盤『ザ・ケルン・コンサート』が50周年を迎えた2025年、前代未聞の試みに挑むピアニストが現れた。クラシック・ピアニスト、山口ちなみ。彼女はキース本人が校正を施した楽譜を手にし、半年間の猛特訓を経て、『ザ・ケルン・コンサート』の全曲演奏会を行っている。大きな話題を呼びながらも、これまでコンサートでしか味わえなかった演奏が遂に待望のCD化。賛否両論はあるだろう。しかし、彼女の演奏を聴いた観客は、ピアノに真摯に向き合う姿に感銘を受け、美しく情感あふれる響きに思わず息を呑む。この作品でも同様に、山口ちなみの演奏はあたたかで豊かなベーゼンドルファーの鳴りを一層輝かせ、繊細かつ気品に満ちたタッチと表現力でメロディーを鮮やかに浮かび上がらせる。今、こうして改めて名盤の素晴らしさに出会う喜びを感じていただきたい。

レーベル：寺島レコード

【録音】 2025年9月27日@キング関口台スタジオ

2025年12月3日(水)リリース

タイトル：The Köln Concert